

ダイトコーポレーション、電動タグボートの建造を決定

株式会社ダイトコーポレーション（社長：浅野敦男、本社：東京都港区 以下「当社」）は、大容量リチウムイオンバッテリーを動力源とする電動タグボート（以下「EV (Electric Vessel) タグ」）の建造を決定しました。

EVタグは、3.2MWh の大容量バッテリーを搭載し、バッテリーに充電したグリーン電力により運航します。バッテリー駆動とすることで従来型の重油焚主機を搭載したタグボートと比較して、燃料消費量や二酸化炭素排出量を大幅に削減します。また、新開発した船型や、最新のIoTを活用した船内電力需要の自動制御により、エネルギー消費を最適化することで、省エネルギーかつ高効率な本船運用が可能です。これらにより、従来型タグボート比で約60%の二酸化炭素排出量削減を実現します。また、この取り組みは経済産業省と国土交通省連携の補助事業「内航船革新的運航効率化・非化石エネルギー転換推進事業」にも採択されており、内航船業界の環境への取り組みの大きな一翼を担っています。

EVタグは、造船所の株式会社ダイゾー、制御・推進装置の支給とシステムインテグレートする川崎重工業株式会社の協力の下、建造に取り組み、2027年5月竣工を予定しており、横浜港、川崎港に寄港する船舶の入出港作業に従事して、各港のカーボンニュートラルポート（CNP）形成に貢献します。

当社は“K”LINE グループの一員として、環境保全に関わる長期指針「“K”LINE 環境ビジョン2050」におけるグループの環境マネジメントを推進するための体制「DRIVE GREEN NETWORK」の下、地球環境保全・港湾周辺環境改善に取り組んで参ります。



<本件に関するお問い合わせ先>

曳船事業部 工務部 岡谷、大導寺

TEL: 045-201-6919